

機関番号：84301

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2007～2010

課題番号：19202007

研究課題名（和文）日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察

研究課題名（英文）A Comprehensive Investigation of Wood in Japan and Their Cultural Context

研究代表者 佐々木 丞平（SASAKI JOHEI）

独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・館長

研究者番号：20144313

研究成果の概要（和文）：

本研究は、木を単に造形作品の素材・材料としての視点から捉えるのではなく、樹木そのものを信仰の対象として崇拝し、美の対象として描いてきた、日本人の樹木に対する精神のありようにまで踏み込んで調査し考察することが主たる目的であった。このような視点から調査研究を進めてきた結果、たとえば山形・熊野神社の伝十王坐像にトチ、静岡・建徳寺の千手観音立像にクスノキがあえて用いられている背景には、用材としての性能ではなく、信仰的な意味合いが強く意識されていたことなど、日本人と樹木の関係にかかわる貴重な成果が得られた。

研究成果の概要（英文）：

This research examines wood not only as material and medium for sculptures and carvings but also from the perspective of trees themselves as objects of faith and worship and as subjects depicted in art. The study also focuses on the spiritual consciousness of the Japanese towards trees. As a result of pursuing our research from these viewpoints, important discoveries in the relationship between people and trees were found. For example, the selection of woods—such as Japanese horse chestnut (*Aesculus turbinata* Blume) for a seated image of a deity, which is purported to be one of the ten kings of hell, at Kumano Shrine in Yamagata Prefecture and camphor (*Cinnamomum camphora*) for a standing image of a thousand armed Kannon at Takyo-ji Temple in Shizuoka Prefecture—was not necessarily determined by their material quality but for their religious or spiritual significance. These findings indicate a spiritual awareness in Japan towards trees.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	10,500,000	3,150,000	13,650,000
2008年度	6,400,000	1,920,000	8,320,000
2009年度	6,400,000	1,920,000	8,320,000
2010年度	4,000,000	1,200,000	5,200,000
総計	27,300,000	8,190,000	35,490,000

研究分野：人文学（哲学）

科研費の分科・細目：美学・美術史

キーワード：美術史 日本文化・木彫・木製品

1. 研究開始当初の背景

美術作品における樹木の果たした役割に関する研究としては、仏像に用いられた材の樹種に関する研究などはあったが、素材としての樹木だけではなく、用材の選択にあたっての我々日本人の精神的背景にまで踏み込んだ研究はなかった。また、美の対象として描かれる樹木の背後にある日本人の美意識や精神性に関する研究も、樹木という視点からのものは皆無であった。したがって当研究のテーマは、わが国の美術史研究上かつてない視座からのものであったといえよう。

2. 研究の目的

本研究は、先史時代より明治時代に至るまでの、樹木を素材・主題とした美術工芸遺品を通じて、従来蓄積されてきた歴史学の諸成果をフィードバックしながら、日本の木の文化を、他の東アジア諸国のそれと比較しながら、位置づけることを目的とする。

3. 研究の方法

木を素材として用いた彫刻、書画（木を素材とする紙という観点から）、漆工を中心とする工芸作品および、木を題材として描いた（表わした）絵画、染織、金工、陶磁などの作品を、目視および様々な科学的手法を援用して詳細に調査することにより、日本文化の背景に通底する樹木への信仰および、その造形化に際しての思想を明らかにし、東アジア社会の中での独自性を浮き彫りにする。

調査手法としては、社寺をはじめとする諸機関に所蔵される文化財の調査を基本とする。すでに京都国立博物館には過去数十年にわたる京都での社寺調査の歴史がある。それによって蓄積されたデータを有効に活用するとともに、今回の調査で得られた日本各地の文化財データと比較検討を行った。

調査においては、各文化財に関して詳細な調査書を作成し、大型カメラによる写真資料を収集した。また、一部の作品に関してはファイバースコープやマイクロスコープ、赤外線カメラなどの科学的手法も援用し、あらたな視点からのデータ収集も行った。

4. 研究成果

初年度に調査した京都・八坂神社では神像内より銘文を発見した。その成果は京都国立博物館の研究紀要『学叢』誌上に発表されている。また、静岡・建徳寺の調査では、安置仏中に多くの古仏が含まれていることが判

明した。その成果をもとに平成22年4月静岡市のフェルケール博物館において、京都国立博物館が特別協力として携わった展覧会が開催された。

第二年度に調査した京都・法界寺では秘仏の十二神将を調査した。また、香川・与田寺の不動明王に関して三次元計測を行い、当初の形状をバーチャルに復元し、いずれもその成果は中間報告会で公表した。

第三年度に調査した京都・悲田院では阿弥陀如来像の像内より銘文を発見し、これが快慶作品であることが判明した。本件も中間報告会にて報告した。また、館蔵品の印籠をエックス線撮影したところ、その素材に関して新たな知見が得られた。本件に関しては平成22年6月に文化財保存修復学会において発表した。

また、第三年度に調査した山形・熊野神社、第四年度に調査した静岡・宝林寺、大雄寺（両寺とも黄檗寺院）などでは、いずれも未知の文化財を発見することができた。

これらの成果は最終年度に発行した二冊の報告書（〈考察編〉〈報告編〉）において公表した。また、静岡の黄檗寺院における調査の成果は、4年後に浜松市博物館で予定されている、浜松の黄檗寺院をテーマにした展覧会において、ひろく一般に向け公開する予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計8件）

浅湫 毅「京都・八坂神社の隨身倚像」『学叢』（査読なし）30号 2008年 85～89頁

浅湫 毅「静岡・建徳寺の彫刻」『学叢』（査読なし）31号 2009年 119～143頁

浅湫 毅「調伏のかたちとしての元三大師像」『仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書37 予言と調伏のかたち』（査読なし）2010年 1～6頁

浅湫 毅「静岡・建徳寺の千手観音立像 仏師長勤作」『学叢』32号（査読なし）2010年 47～53頁

永島 明子「二〇〇九年三月イタリアにおける漆器調査の報告」『学叢』32号（査読なし）2010年 83～97頁

浅湫 毅「神像の出現 ―神像とは何か―」

『神有月古代文化シンポジウム 神々の姿の変遷 資料集』(査読なし) 2010年 20~24頁

浅湫 毅「山形・熊野神社の伝十王坐像について」『科学研究費補助金[基盤研究A] 報告書 日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察(考察編)』(査読なし) 2011年 9~15頁

久保 智康「平塩熊野神社伝来の鏡像とその背景」『科学研究費補助金[基盤研究A] 報告書 日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察(考察編)』(査読なし) 2011年 17~25頁

[学会発表](計4件)

浅湫 毅「調伏のかたちとしての元三大師像」『研究発表と座談会 予言と調伏のかたち』仏教美術研究上野記念財団助成研究会 2009年10月23日 京都テルサ

浅湫 毅、寺島 典人、井上 一穂、奥 健夫『科学研究費補助金基盤研究(A) 日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察 中間報告会』2010年1月15日 京都国立博物館

村上 隆・永島 明子「京都国立博物館所蔵初代飯塚桃葉作 印籠の材質と製作技法」『文化財保存修復学会第32回大会』2010年6月13日 長良川国際会議場

浅湫 毅「神像の出現 一神像とは何か」『神有月古代文化シンポジウム 神々の姿の変遷』2010年10月31日 島根県古代文化センター

[図書](計5件)

京都国立博物館編『シルクロード 文字を辿って ロシア探検隊収集の文物』京都国立博物館 2009年 208頁

京都国立博物館編『科学研究費補助金基盤研究(A) 日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察 中間報告会資料集』京都国立博物館 2010年 28頁

フェルケール博物館編『建徳寺の仏像』フェルケール博物館 2010年 24頁

京都国立博物館編『科学研究費補助金[基盤研究A] 報告書 日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察(考察編)』京都国立博物館 2011年 120頁

京都国立博物館編『科学研究費補助金[基盤研究A] 報告書 日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察(報告編)』京都国立博物館 2011年 92頁

[産業財産権]

○出願状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐々木 丞平(SASAKI JOHEI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・館長
研究者番号:20144313

(2) 研究分担者

西上 実(NISHIGAMI MINORU)
独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部・部長
研究者番号:40142632

若杉 準治(WAKASUGI JUNJI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部・列品管理室長
研究者番号:20150039

山本 英男(YAMAMOTO HIDEO)
独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部・美術室長
研究者番号:10200833

山下 善也(YAMASHITA YOSHIYA)
独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部・連携協力室長
研究者番号:40463252

大原 嘉豊(OHARA YOSHITOYO)
独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部企画室・研究員
研究者番号:90324699

赤尾 栄慶 (AKAO EIKEI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・上席研究員
研究者番号：20175764

羽田 聡 (HADA SATOSHI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部企画室・研究員
研究者番号：30342968

浅湫 毅 (ASANUMA TAKESHI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部連携協力室・主席研究員
研究者番号：10249914

中村 康 (NAKAMURA YASUSHI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・文化財管理監
研究者番号：30249916

久保 智康 (KUBO TOMOYASU)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・企画室長
研究者番号：50234480

尾野 善裕 (ONO YOSHIHIRO)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・工芸室長
研究者番号：40280531

山川 暁 (YAMAKAWA AKI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部列品管理室・主任研究員
研究者番号：70250016

永島 明子 (NAGASHIMA MEIKO)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部企画室・主任研究員
研究者番号：90321554

宮川 禎一 (MIYAKAWA TEIICHI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・考古室長
研究者番号：30280530

森田 稔 (MORITA MINORU)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸課・学芸課長
研究者番号：20393192
(H19)

小松 大秀 (KOMATSU TAISHU)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・学芸部長
研究者番号：90090927
(H20)

村上 隆 (MURAKAMI RYU)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・保存修理指導室長
研究者番号：00192774
(H20—H22)

呉 孟晋 (KURE MOTUYUKI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部美術室・研究員
研究者番号：50567922
(H22)

水谷 亜希 (MIZUTANI AKI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部連携協力室・アシエー
トフェロー
研究者番号：20565296
(H22)

難波 洋三 (NAMBA YOZO)
独立行政法人国立文化財機構奈良国立
文化財研究所・都城発掘調査部・考古第
一研究室長
研究者番号：70189223
(H19→H20 連携研究者)

(3) 連携研究者

伊東 史朗 (ITO SHIRO)
和歌山県立博物館・館長
研究者番号：90132703
(H21—H22)

井上 一穂 (INOUE KAZUTOSHI)
同志社大学・文学部・教授
研究者番号：40193578
(H21—H22)